

事務事業名	結婚支援事業	事務事業No.	20204000285	所属課	企画課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年、茨城県において独身者の結婚を支援する「いばらき出会いサポートセンター」が開設。 平成21年、桜川市男女共同参画プラン策定委員より、結婚支援の提案があり、平成22年より本格的に結婚の応援を開始。 平成25年、内閣府が少子化の要因として未婚化・晩婚化を位置づけ、結婚から出産、子育てまでを一体的に捉えるようになった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 独身者の親からの結婚相談件数も多く、しっかりとした支援が求められている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 結婚の応援は少子化対策のひとつである。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 結婚は個人の意思であるが、近年は非婚化・晩婚化が進み、少子化の大きな要因となっている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 婚活パーティーやセミナー内容の充実。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 結婚への意識啓発や身近な相談窓口がなくなり、結婚希望者への対応ができなくなる恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 茨城県(いばらき出会いサポートセンター)や都内、県内市町と連携し事業を実施している。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 婚活応援セミナーの講師料は、職員が研さんを積み、講師を担当することにより削減可能。婚活パーティーやセミナーは職員自らが運営することが多く、また、他団体のパーティーに協力することもあり、人件費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である パーティーへの参加は自己負担とし、公正・公平性に努めている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成27年度、防災協定を締結している東京板橋区、かすみがうら市と共催し、婚活バスツアーを実施した。56名の参加があり、10組のカップルが誕生した。また、市内企業と協力し、婚活セミナー及び出会いのパーティーを開催した。結婚相談については、県の「出張結婚なんでも相談」事業を活用し、12組の相談を受けた。																																
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																																
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>目的の再設定</td><td><input type="checkbox"/></td><td>効率性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/></td><td>公平性の改善</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>統廃合ができる</td><td><input type="checkbox"/></td><td>連携ができる</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	目的の再設定	<input type="checkbox"/>	効率性の改善	<input type="checkbox"/>	有効性の改善	<input type="checkbox"/>	公平性の改善	<input type="checkbox"/>	統廃合ができる	<input type="checkbox"/>	連携ができる	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td style="text-align: center;">○</td><td></td><td></td></tr> <tr><th>維持</th><td></td><td></td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><th>低下</th><td></td><td></td><td style="text-align: center;">×</td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
<input type="checkbox"/>	目的の再設定	<input type="checkbox"/>	効率性の改善																														
<input type="checkbox"/>	有効性の改善	<input type="checkbox"/>	公平性の改善																														
<input type="checkbox"/>	統廃合ができる	<input type="checkbox"/>	連携ができる																														
コスト																																	
	削減	維持	増加																														
成果	向上	○																															
	維持			×																													
	低下			×																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 少子化の要因として未婚化・晩婚化は大きな社会問題となっている。国や都道府県、各自治体も本格的な結婚支援を開始。 相談件数も多くなり、適切な助言や効果的なパーティーを開催していく必要がある。 個々の事情に合わせた助言等を行う。生涯未婚率は年々上昇傾向にある。常に結婚事情を把握し知識レベルを高めるとともに、セミナーやパーティーの手法も研究し、効果的な意識啓発に取り組む。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																																

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>